

# 愛媛県経済成長戦略 2010〔概要〕

～経済版えひめマッスルプラン～

## 総論

### 1 経済成長戦略策定の背景・目的

- ・戦後最大の「世界同時不況」や「世界金融危機」の影響を受け、県内企業の収益環境が悪化。大手企業の事業縮小や製造拠点の海外移転、労働者の雇用調整、個人消費の低迷となって表れるなど、県内経済は依然厳しい状況。
- ・低炭素社会の実現をはじめ、循環型社会システムの構築、生物多様性の保全など、環境問題が広域化・多様化し、重要性が増す中、地球温暖化防止の新たな政府目標として掲げられた「温室効果ガス 25%削減(1990年比)」は、国内の産業構造や企業の経営環境の大きな変革を迫る要因ともなり得る。
- ・こうした状況の中で、経済・雇用危機を乗り越えるための当面の対策との両輪として、国の経済対策における重点分野や成長戦略の方向性を踏まえつつ、**中長期的な視点に立ち、将来を見据えた産業の振興や未来への投資につながる技術開発等を進めるため、‘本県経済の持続的発展につなげる成長戦略’を策定する。**

### 2 経済成長戦略策定の3つの基本理念

#### 【基本理念1】

この経済成長戦略は、従来のように県経済の規模拡大を単に企図するのではなく、経済環境の様々な変化に応じた‘産業構造の転換’や‘企業体質の強化’を戦略的に進め、**将来に亘る足腰の強い経済基盤づくりを目指し、実質的な「経済体質強化戦略」(＝経済版えひめマッスルプラン)**とする。

#### 【基本理念2】

「経済体質強化」を図るに当たっては、既存産業をベースとしつつも、従来の産業分野の枠にとらわれず、**けん引力としての「成長産業の創出」と地域に根付く「雇用を支える産業の育成」、未来への投資としての「環境と経済の好循環」**の3つの視点から、将来に亘る持続的経済基盤の強化を目指す。

#### 成長産業の創出 ～成長産業への脱皮～

- ・イノベーションの進展や経済社会環境の変化に伴い、我が国産業を支える成長エンジンは時代とともに変遷。本県でも、製造拠点の海外移転による産業空洞化に加え、大手企業の事業廃止・縮小が顕在化しており、本県経済を支える新たな成長産業の育成など、本県経済の立て直しが喫緊の課題。
- ・本県企業の持つ技術シーズや製品・サービスを生かしながら、新たな成長エンジンとなる可能性の高い分野や産業を重点的に支援し、県内企業の成長力強化や底上げにつなげていく必要がある。

### 雇用を支える産業の育成 ～確かな雇用の創出～

- ・国内マーケットは縮小傾向にあるほか、少子高齢化の進行や経済のグローバル化などにより、国内産業を支える労働・雇用環境は大きく変化。本県でも、農林水産業の低迷による第一次産業就業人口の減少、公共事業削減などによる雇用の場の縮小に加え、企業の生産活動の低迷が雇用悪化をもたらしている。
- ・内需と外需の双発エンジンにより経済回復を図っていく中で、既存産業の成長産業への脱皮による新規雇用の創出に加え、雇用・就業の大きな受皿となり得る農林水産業や介護福祉分野等において企業の取組みを積極的に支援することで、県経済を支える確かな雇用の創出に結び付けていく必要がある。

### 持続的発展を支える環境と経済の好循環 ～未来への投資～

- ・県経済の持続的な発展の大前提として、企業活動のあらゆる側面において環境に配慮しながら、経営体制、生産体制、販売体制等を見直し、「低炭素型への転換」を進めていくことが求められている。
- ・「未来への投資」として、県内企業に対し、ライフサイクルアセスメント(LCA)や3R(リデュース・リユース・リサイクル)、環境マネジメントシステムの導入、CSR(企業の社会的責任)の一環としての環境保全活動等を促していく必要がある。
- ・また、このような取組みが、企業・県民双方にとってメリットを生み出すよう、グリーン購入や社会的責任投資(SRI)等の普及、企業の環境保全に係る資金面での支援を図っていく必要がある。

## 【基本理念3】

「経済体質強化戦略」の実現に当たっては、社会経済環境の変化が加速していく中で、地域の力が最も発揮される地域を目指して、地域の総力を結集する『戦略的取組の推進』とともに、‘本県企業が体質強化を図り続ける’ことをサポートする『場づくり』や『ヒトづくり』のための仕組みづくりなど、環境整備を図っていく。

- ・本県の財政状況も厳しさを増しており、あれもこれもといった総花的な取組みには限界がある。本県経済を支える基盤として将来に高い成長力が期待できる産業を育成するためには、旧来の手法でなく、地域戦略を基に限られた行政資源の重点化を図るとともに、企業の成長に向けた意欲や努力をサポートする‘場づくり’や‘ヒトづくり’に取り組む必要がある。
- ・このため本戦略では、中長期的な視点に立ち、今後の県経済を支える新たな成長の芽となる分野や産業を定め、県内産業の構造転換や企業の新たな取組みを支援するアクションプログラムを中心に提示するとともに、既存産業の底上げや成長への誘導を図るための支援策を盛り込むなど、民間の成長力を伸ばすための施策について取りまとめている。

## 3 戦略的重点支援のための4つの成長分野

時代の潮流や国の施策の動き等を踏まえつつ、本県の地域特性や企業集積、成長産業の核となるシーズやニーズを分析し、従来の産業分野の枠にとらわれない新たなビジネスモデルを創出するため、『食品ビジネス』、『低炭素ビジネス』、『健康ビジネス』、『観光ビジネス』の4つを本戦略における成長分野と定め、成長型の産業集積を戦略的に進めることにより、本県経済の持続的発展につなげていく。

## (新たなビジネスモデルの創出)

- ・経済のグローバル化やイノベーションの進展に伴う産業構造の変革に対応するため、従来の産業分野の枠にとらわれない新たなビジネスモデルの創出を図り、企業の新分野進出や新事業展開を促すことで、経済成長の芽を大きく育てていく必要がある。

### 食品ビジネス

中四国最大の農林水産県であり、豊富な農林水産物を基にした食品加工業が発達している本県の特徴を活かす。

### 低炭素ビジネス

低炭素社会の構築が世界的な潮流となっており、脱石油・低炭素化への対応が地域産業の発展においても不可欠である。

### 健康ビジネス

超高齢社会の到来や健康志向の高まりなどから、健康分野でビジネス機会が増大している。

### 観光ビジネス

観光は裾野の広い総合産業であり、本県への来訪者の増加が県経済の活性化につながる。

## (特に考慮すべき時代の潮流)

- ・本県を取り巻く経済社会環境は、時代の変遷とともに大きく変化してきており、県内経済の持続的な発展や県民生活の向上を図っていくためには、社会の大きなうねりや産業構造の変革の動きに即した、積極的な対応が求められている。

社会の大きなうねり

### ・少子高齢化と人口減少

労働人口の減少、現役世代の負担の増加、高齢者の就業機会の増加、技能・技術の承継、農林水産業の担い手不足や高齢化、介護や子育てに対する支援ニーズの増加 等

### ・環境や安全・安心への関心の高まり

企業に対する環境配慮の要請、食の安全・安心に対する要求、地球温暖化防止対策や循環型社会形成への意識の高まり 等

### ・価値観・ライフスタイルの多様化

個性の尊重、生活水準の向上、自由時間の増大、就労形態の多様化、消費ニーズの多様化、健康への関心の高まり、ワーク・ライフ・バランスへの意識の高まり 等

### ・グローバル化・情報化

生産拠点の海外移転、低価格輸入品の増加、海外市場への参入機会増、外国人観光客の増加、インターネット・携帯電話の普及、販売手段の多様化、外国人労働者の増大 等

産業構造の変革の動き（現状や課題等）

### ・低炭素革命

再生可能エネルギーの開発促進・普及、エコカー(電気自動車、ハイブリッド車等)の普及、省エネ家電の普及 等

### ・食料・水問題

異常気象の頻発、水資源の不足、食料価格の高騰、食料自給率の低迷、水管理・水処理技術の向上 等

### ・資源エネルギー問題

化石燃料の枯渇懸念、資源取引の国際化、資源メジャーによる寡占化、資源エネルギー価格の高騰 等

### ・農林水産業の6次産業化

販売価格の低迷、生産コストの上昇、農業所得の減少、担い手の高齢化・減少等

## 4 経済成長戦略の推進期間

この経済成長戦略では、4つの成長分野における「10年後の目指す姿」を思い描きながら、1～2年で成果を求める短期的な取組み、3～5年程度の時間をかけて進める中長期的な取組みをアクションプログラムとして明示し、戦略的な施策展開を着実かつ実効的に進めるとともに、その進捗状況や今後の経済環境の変化などを踏まえて、1～2年ごとに見直しを行うものとする。

## 各 論

### 1 成長分野への重点支援による“産業力の向上”

#### (重点戦略分野) 食品ビジネス

#### (ア) 背景・ねらい

農林水産業と食品加工業は本県の基幹産業。その成長が地域経済の未来を決める！

国内市場の縮小	産地間競争に勝ち抜くための高付加価値化 / 海外市場への事業展開
ニーズの多様化	マーケットインによる商品開発 / 研究開発力やマーケティング力の向上
食の安全・安心	安全な地域産品の供給 / 生産現場と加工・小売サイドの距離短縮
生産現場の疲弊	農林水産業の儲かる化の推進 / 他分野からの農業参入の促進

#### (イ) 10年後の目指す姿

商工業者と生産者が共に潤う食ビジネスが展開される

『儲かる食料供給基地えひめ』

新しいビジネスやマーケットを次々と先行開拓できる

『食のフロントランナーえひめ』

愛媛や四国の魅力ある産品を当たり前輸出できる

『どんどん海外チャレンジえひめ』

(ウ) 重点分野のアクションプログラム

食品 - 重点分野 A

地域力を活かした食ビジネスの振興

食 A - 戦略 1 ... 儲けが計算できる農林水産物供給ビジネスの確立

〔戦略骨子〕

「儲けが計算できる農林水産物供給ビジネス」の起点となる農林水産物の安定供給や高付加価値化を実現するため、本県の強みである植物工場や養殖業などの産学官連携による先進的な取り組みや、大規模で効率的な事業展開を行う県外大手企業などの農業等への参入を促進するとともに、農商工連携を軸に据えた本県独自の「儲かる」ビジネスモデルを新たに構築していく。

戦術

植物工場の普及促進

養殖業の高付加価値化

企業の農業等への参入促進

農商工連携による新しいビジネスモデルの構築

食 A - 戦略 2 ... 食品産業クラスターの形成

〔戦略骨子〕

食品産業の集積を図り、消費者のニーズに応じた付加価値のある加工食品を低コストで効率的に製造するため、大都市圏からの距離ハンディ解消に向けた新たな物流システムの構築を支援するとともに、集積の核となる県外大手企業の誘致を促進することにより、食品産業クラスターの形成を推進する。

戦術

新たな物流システムの構築

県外大手食品企業の誘致促進

食 A - 戦略 3 ... 農商工連携の常態化による食ビジネスの促進

〔戦略骨子〕

農林水産業と食品産業の有機的連携を促進し、食ビジネスの下地となる地域力を高めるため、農商工連携ファンドを活用した長期的な支援態勢を構築し、県内あまねく農商工連携が常態化する愛媛を実現する。

戦術

農商工連携ファンドを活用した愛媛型支援システムの構築

## 食品 - 重点分野 B

### 新しい「食のマーケット」の開拓

#### 食 B - 戦略 1 ... マーケット開拓のための効率的・効果的な県組織体制の見直し

##### 〔戦略骨子〕

食品を中心とした県産品の販売促進や新たなマーケット開拓を、県を挙げて支援していくため、県産品振興のための総合戦略の策定や戦略を実践するための司令塔機能を担う組織の設立、庁内支援組織の一元化などについて検討を進める。

##### 戦術

愛媛産品マーケティング戦略の策定

愛媛産品拡販組織の設立

司令塔機能強化のための支援体制の見直し

#### 食 B - 戦略 2 ... 有望分野への戦略的参入の支援

##### 〔戦略骨子〕

将来マーケットの拡大が見込まれる分野に着目し、戦略的に参入を促進していくことで、他県の事業者にも先駆けた競争力を有する食品分野を構築し、先駆者利益の獲得を図る。

##### 戦術

高齢者・要介護者向けの食品ビジネスの振興

愛媛産果実を活用した「愛あるリキュール」等の開発

#### 食 B - 戦略 3 ... 県内食品業者のネット販売への参入促進

##### 〔戦略骨子〕

県とモール運営事業者、金融機関等が連携し、ネット販売を活用した県内企業や生産者の販売促進支援を行う。

##### 戦術

モール運営事業者との提携に基づく愛媛オリジナルプランの創設

ネット販売啓発セミナーや食材発掘視察の開催

モール上での物産市の開催

## 食品 - 重点分野 C

### 東アジア市場をターゲットとした海外販路の開拓

#### 食 C - 戦略 1 ... 地域商社の育成と輸出推進協議会の設立

##### 〔戦略骨子〕

愛媛や四国の食品を世界各国に向けて販売できる体制を県内に構築するため、県内の地域商社を育成するとともに、県内市町や経済団体、農林水産団体のほか、輸出に意欲を持つ民間事業者が参画・運営し、地域商社とともに海外販路を切り拓いていく輸出推進組織を設立する。

##### 戦術

世界と愛媛を結ぶ「地域商社」の育成

「愛媛県食品輸出推進協議会（仮称）」の設立

#### 食 C - 戦略 2 ... 愛媛の魅力を世界に伝える商品づくり

##### 〔戦略骨子〕

海外市場を強く意識した商品開発・改良や販路開拓に、事業者と県が二人三脚で取り組むとともに、総合的なPR展開と組み合わせることで、海外における愛媛産品の認知度を高めるとともに、産品を通じた愛媛のイメージづくりや来訪促進につなげていく。

##### 戦術

E H I M E ブランド海外チャレンジ支援事業の創設

パブリシティを活用した総合的なPR展開

#### 食 C - 戦略 3 ... 海外販路開拓を戦略的に支援する体制づくり

##### 〔戦略骨子〕

庁内に分散している販路開拓支援業務を事業者目線で見直し、販路開拓を含む食品産業への支援が効率的に行えるよう庁内組織の構築を図るとともに、今後の食品産業における海外市場の重要性を認識し、海外向け事業への投入資源を大幅に高めていく。

##### 戦術

司令塔機能強化のための支援体制の見直し【再掲】

上海交流拠点の整備検討

えひめ中小企業応援ファンドや農商工連携ファンドの活用

## (重点戦略分野) 低炭素ビジネス

### (ア) 背景・ねらい

低炭素社会構築は世界的潮流。脱石油・低炭素化への対応が地域産業成長の鍵！  
低炭素社会実現のニーズ 産業構造の大きな変化への対応 / 成長が見込まれる低炭素ビジネスへの進出支援 / 次世代エネルギーへの転換支援  
脱石油・低炭素化の流れ 脱石油・低炭素化に対応した技術開発・設備更新 / 製品等における県内事業者の先進性と優位性の確保

### (イ) 10年後の目指す姿

グローバルニッチトップ企業を絶えず創出する  
『低炭素ビジネスフロンティアえひめ』  
「環境負荷低減」と「製品価値向上」が両立した技術を創出する  
『低炭素革新技术トップランナーえひめ』  
取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる企業を数多く創出する  
『産業創出力 NO.1 えひめ』

### (ウ) 重点分野のアクションプログラム

#### 低炭素 - 重点分野 A

「第2の産業革命」をけん引する技術の開発

#### 低 A - 戦略 1 ... 脱化石燃料動力による運搬機器等の開発

##### 〔戦略骨子〕

市場拡大が見込まれる電気自動車（EV）や本県の主要産業のひとつである水産業の特徴を踏まえた電動漁船について、地域の産学官が結集して技術開発を行い、これらのEV化技術を活かしたビジネスモデルの開発に取り組むことにより、地域産業界におけるEV化技術の蓄積と機運の醸成を図るとともに、新たなEV産業の創出を目指す。

##### 戦 術

電気自動車技術開発

電気船技術開発



## 低 A - 戦略 2 ... 製造から廃棄までの低炭素化を実現する技術の開発

### 〔戦略骨子〕

地球温暖化防止対策の推進に当たり、廃棄物の発生抑制や資源の有効活用など、循環型社会の構築に向けた仕組みづくりや基盤整備を進める必要があることから、多方面にわたり温室効果ガスの排出削減に有効な 3 R (リデュース・リユース・リサイクル) を積極的に推進するほか、これらのビジネス化を支える技術開発等を進める。

また、国においては、使用済小型家電からのレアメタルの回収など、いわゆる「都市鉱山」から有用金属を回収するリサイクルシステムの技術開発等に取り組んでいることから、本県においてもこれらの動向を注視しながら、産学官が連携した技術開発等を進める。

### 戦 術

低環境負荷の生産・処理プロセス技術の開発

「都市鉱山」から貴金属やレアメタルを回収する技術の開発

## 低 A - 戦略 3 ... 「ウォーターサイクル技術」の開発

### 〔戦略骨子〕

世界の水ビジネスの市場規模は今後も拡大が見込まれる中、日本の技術はナノテクを利用した海水の淡水化や排水の浄化などにおいて、世界トップクラスにある。県内にも高い技術力を持つ水処理企業が数多く存在することから、水処理技術や水ビジネスに関し先駆的地域を目指す。

### 戦 術

淡水化等高度水処理技術開発

「和製水メジャー」の育成

## 低炭素 - 重点分野 B

低炭素をキーワードとした新たな製品・サービスの開発

## 低 B - 戦略 1 ... 「CO<sub>2</sub>排出ゼロビジネス」の育成

### 〔戦略骨子〕

地球温暖化問題が深刻化する中、環境問題、特にCO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出削減に対する国民の意識は高まっており、企業における排出削減の取組みは単なるコストではなく、消費者に対する大きな訴求力になりつつあり、今後の動向に対する企業の注目度は高い。

低炭素をキーワードとした製品・サービスの開発等を促進するため、県とえ

ひめ産業振興財団で設置した「えひめ先進環境ビジネス研究会」において関連情報を集約し、各企業に提供することにより企業における取組みを支援する。

#### 戦術

- カーボンオフセット商品の開発支援
- オフセットクレジット案件の創出支援

### 低B - 戦略2...「CO<sub>2</sub>が見える」ものづくりの推進

#### 〔戦略骨子〕

「カーボンフットプリント制度」は、排出されるCO<sub>2</sub>量を消費者等に認識させることを目的として、商品のライフサイクル全体（原材料調達～廃棄・リサイクル）で排出された温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>換算して表示する制度であり、今後、大手企業から商品・サービスの納入に当たって「CO<sub>2</sub>が見える」ことが当然に要求される可能性があるなど、これからのものづくりにおいて非常に重要な要素となりつつある。

このため、農業従事者も含めた県内のものづくり事業者に対して、カーボンフットプリント制度に関する普及啓発を行うとともに、その対応に必要な支援を行うとともに、企業が排出するCO<sub>2</sub>量等を把握し、その削減に向けた取組みが自発的に展開されるよう、側面的な支援を行う。

#### 戦術

- カーボンフットプリント制度の導入促進
- 企業の環境負荷低減への取組支援

### 低炭素 - 重点分野C

#### 「低炭素ビジネスフロンティアえひめ」の構築

### 低C - 戦略1...「低炭素ビジネスフロンティアえひめ」実現のための環境整備

#### 〔戦略骨子〕

低炭素ビジネスフロンティアえひめを実現するため、市町・民間企業等主体では取り組むことが困難と考えられる都市と山間地域の連携、地域内でのエネルギー循環システムの構築、バイオマス原料供給基地の整備といった県内全体としての環境負荷の軽減のために必要な基盤構築に取り組む。

#### 戦術

- 都市と山間地域との環境ネットワークの構築
- 地域コミュニティでのエネルギー循環システムの推進
- バイオマス原料供給基地の整備

## 低C - 戦略2 ...次世代エネルギーの魅力と本県の取組みのPR

### 〔戦略骨子〕

新エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、実際に見て触れる機会を増やすことにより、県民等の理解の促進を図るほか、本県における低炭素ビジネス実現のための支援組織である「えひめ先進環境ビジネス研究会」について組織の機能強化を図るとともに、同研究会の取組内容を県外に積極的にPRしていく。

### 戦術

「えひめ次世代エネルギーパーク」の整備  
えひめ先進環境ビジネス研究会の機能強化

## (重点戦略分野) 健康ビジネス

### (ア) 背景・ねらい

健康に対する考え方やニーズが多様化。健康分野でビジネスチャンスの広がり！  
ライフスタイルの変化 個人の生き方に応じた商品・サービスの提供  
健康志向の高まり 健康の維持・増進、疾病予防に関するニーズへの対応 / 多様な産業の連携による新たな健康ビジネスの創出  
超高齢社会の到来 高齢者を支える社会づくり / 医療等の進歩につながる技術開発

### (イ) 10年後の目指す姿

県民のQOL向上に寄与する商品・サービスが提供できる  
『健康づくり応援えひめ』  
介護福祉現場のニーズを捉え高齢者の健康生活が支援できる  
『健康生活支援えひめ』  
医療技術等の進歩・発展につながる先端研究を応援する  
『先端医療技術開発えひめ』

### (ウ) 重点分野のアクションプログラム

健康 - 重点分野A  
保健・医療・福祉をつなぐ取組体制

## 健 A - 戦略 1 健康ビジネスを創出する取組体制の整備

### 〔戦略骨子〕

新たな健康ビジネスの創出に当たっては、保健・医療・福祉分野をはじめ、多様な産業の連携を促進し、新たな視点や技術の導入、現場ニーズと企業シーズのマッチングなどを促進することにより、製品・サービスの差別化や高付加価値化に結びついていくものと考えられることから、県内企業の参加による取組体制の構築を図る。

### 戦 術

「えひめ健康ビジネス研究会（仮称）」による取組み促進

「健康・福祉・医療ビジネスフォーラム（仮称）」の開催

## 健康 - 重点分野 B

### 健康増進につながる商品・サービスの開発

## 健 B - 戦略 1 ... 地域特産品を活用した健康食品等の開発

### 〔戦略骨子〕

健康に対する関心が高まる中で、食品に求められる機能も複雑かつ多様化しており、高齢化や食生活の乱れ等により不足しがちな栄養成分の補給・補完や、特定の保健用途において健康の維持・増進に役立つなど、商品の効能・効果が消費者の購買動向を左右する判断材料ともなっている。

このため、県内企業が持つ加工技術や機能性成分を生かし、食品などの加工品の付加価値を高め、市場競争力の高い製品が開発・提供できるよう支援する必要がある。

### 戦 術

産学官連携による付加価値の高い商品づくり

健康食品に係る品質管理認証への支援

## 健 B - 戦略 2 ... ヘルスツーリズムの促進

### 〔戦略骨子〕

近年のヘルスツーリズムは、観光としての要素の充実に加え、健康・医療などの新たな取組みを組み合わせ、魅力ある健康サービスとして定着してきている。このため、本県の地域資源を活かしながら、県内企業が持つ様々な健康サービスを組み合わせることにより、魅力ある健康保養型観光地を形成し、県内はもとより県外からの集客に結びつけることで、県内産業の振興につなげていく。

## 戦術

健康サービスを組み合わせた旅行商品の開発支援

### 健康 重点分野C

介護・福祉分野におけるビジネス機会の拡大

#### 健C - 戦略1 ...地域産品を活かした介護関連商品の開発普及

##### 〔戦略骨子〕

本県の地場産業である繊維や縫製、紙加工などの分野において、健康をキーワードにした付加価値の高い製品開発が実践できるよう、保健・医療・福祉分野からのニーズやアイデアを吸い上げるなど、協力・連携した取組みを拡大する。

## 戦術

現場ニーズに対応した介護関連商品の開発

#### 健C - 戦略2 ...介護・福祉サービスの向上につながる製品開発

##### 〔戦略骨子〕

増大する介護ニーズに対して、介護人材の確保に課題が残る中、提供するサービスの質を維持していくためには、介護者の負担軽減につながる機能を高めた福祉機器の開発や利用拡大が不可欠である。

また、18年の介護保険制度の改正により、介護予防を重視したシステムに転換されたことから、高齢者の在宅生活への支援や生きがいづくりなど、健康長寿を社会全体で支えるシステムにつながる製品・サービスが求められている。

## 戦術

介護・福祉現場の省力化製品の開発支援

#### 健C - 戦略3 ...空き店舗を活用した中心市街地の介護支援

〔ソーシャルビジネス促進〕

##### 〔戦略骨子〕

中心市街地の商店街は、少子高齢化の進行や大型商業施設の郊外進出などにより、空洞化が進むなど社会問題化している。また、核家族化の進行により、高齢者介護に対するニーズが高まっている中で、民間企業で中心市街地での介護事業に参入している事業者もあるが、参入企業が少ない地域もあり、空き店舗の有効活用等により、更なる介護サービスの整備が望まれている。

これらの社会的課題解決に向け、県内企業が中心市街地においても積極的に介護などの分野に進出し、健康サービスの担い手となれるビジネスモデルを構築し、県内での普及を図る。

#### 戦術

空き店舗活用による介護ビジネス

### 健康 重点分野 D

#### 医療技術等の進歩につながる先端技術開発の促進

#### 健 D - 戦略 1 ... プロテイン・アイランド・松山(PIM)構想の推進

##### 〔戦略骨子〕

無細胞タンパク質合成技術を核として、世界最先端の研究情報を発信するとともに、産学官連携を推進し、松山市をタンパク質研究の拠点にしていこうという P I M 構想の推進を支援する。

無細胞タンパク質合成技術を地域産業に技術移転するため、産学官連携を促進しながら、バイオテクノロジー関連産業の創出や他分野への応用展開を進めていく。

#### 戦術

無細胞タンパク質合成技術を活用した製品開発や技術開発への支援

#### 健 D - 戦略 2 ... 高齢者・障害者の自立を支えるロボット技術等の実用化

##### 〔戦略骨子〕

高齢者・障害者の自立支援や生活支援に役立つロボット技術等の開発は、本県企業の持つ加工・組立技術や制御技術のほか、炭素繊維などの先端素材や電子部品の活用など、未来の産業として大きな可能性を持つ分野であることから、企業の先端技術開発を支援する取組みが必要である。

#### 戦術

ロボット技術の介護・リハビリ現場での活用研究

## (重点戦略分野) 観光ビジネス

### (ア) 背景・ねらい

観光は裾野の広い総合産業。愛媛のファンづくりが県経済の活性化につながる！

旅行形態の多様化・細分化	ニーズにあった旅行商品造成 / 情報発信力のある体験型メニュー等の開発（オンリーワン、ナンバーワン）
地域に根ざした観光振興	地域密着型エージェント育成 / 高速道路開通イベント等の検討・実施
国内経済の成長停滞	成長著しい東アジアからの誘客促進 / 外国人観光客の消費増 / 定期国際航路の維持拡大（インバウンド・ビジネス利用増）

### (イ) 10年後の目指す姿

愛媛の魅力を満喫し、何度も訪れたいと思われる

『ファンで溢れる観光地えひめ』

東アジアの人々も満足し、一度は訪れたいと思われる

『選択される国際観光地えひめ』

### (ウ) 重点分野のアクションプログラム

観光 - 重点分野 A

愛媛ファンづくりの推進

#### 観 A - 戦略 1 ... 滞在日数プラスワンの実践

##### 〔戦略骨子〕

観光による地域への経済効果を高めるためには、本県への観光客の増加はもとより、宿泊客数や宿泊日数の増加が必要不可欠である。このため、リピーター確保につながるホスピタリティの向上や、宿泊を伴う旅行商品の造成、公共交通機関（鉄道、高速バス、フェリー、飛行機等）との連携による利便性向上、滞在型・宿泊型の広域観光ルート形成等を図る。

##### 戦術

「坂の上の雲」等を踏まえた旅行商品の造成支援  
ホスピタリティの充実向上  
隣接県・広域市町等との連携推進

## 観 A - 戦略 2 ...愛媛の魅力創造の推進

### 〔戦略骨子〕

本県への誘客を促進するとともに愛媛ファンを獲得するためには、広く情報発信を行う必要があるが、その広報効果を高めるためには、独自性のある情報発信力を持ったコンテンツの開発、ブラッシュアップが必要不可欠であるため、近年、旅行者ニーズの高い体験型メニューの提供等の愛媛の魅力創造に取り組むとともに、これらの資源を旅行商品化する地域密着型旅行エージェントの育成・支援や情報発信に努める。

また、23年度中が見込まれる高速道路の宇和島延伸を記念したイベントの実施や、県内外での物産観光情報の発信拠点の機能強化等についても検討し、有機的な情報発信や誘客促進・物産販売策を展開する。

### 戦 術

高速道路の宇和島延伸記念イベント等の検討・実施  
地域密着型旅行エージェントの育成・支援  
体験型観光メニューのブラッシュアップ  
物産観光情報発信拠点の機能強化

## 観光 - 重点分野 B

### 東アジアをターゲットとしたインバウンドの推進

## 観 B - 戦略 1 ...東アジアとの観光交流の推進

### 〔戦略骨子〕

東アジアからの誘客を促進するための各種施策を展開するとともに、一層の経済効果を高めるため、外国人観光客の県内消費環境等を整備する。

また、市場規模・将来性など、特に有望な市場である上海には交流拠点を整備し、観光客誘致、販路拡大に向けた継続的な取組みを展開する。

### 戦 術

上海交流拠点の整備検討【再掲】  
癒しの郷“愛媛”ウエルカムキャンペーン(仮称)の展開  
えひめ“外国人にやさしいまちづくり”の整備  
外国人観光客消費環境の整備



## 2 成長企業への脱皮を図る“企業力の向上”

重点戦略分野への産業構造転換を目指すことに加え、県内企業が県内経済のけん引役や確かな雇用の受け皿となり得る基幹的産業へと成長する支援基盤として、企業の成長を助ける‘場づくり’や企業を支える‘ヒトづくり’に取り組むことで、外部環境リスクへの対応力の強化、財務基盤や経営体制の強化、新分野への進出等を促進する。

これら支援基盤の充実を通じて、地域力 No.1 (= 事業環境 No.1、事業者にとっての魅力 No.1) の地域を目指す。

### (1) 企業の成長を助ける‘場づくり’

#### 産学官連携ネットワークの再構築

地域企業の保有する技術ポテンシャルと、大学や公設試験場の保有する研究ポテンシャルを融合し、新たな技術開発や製品開発を進めていくため、産学官連携ネットワークを再構築して、様々な技術プロジェクト等に戦略的に取り組むため、「えひめ産業技術力強化戦略」を策定し、計画的な推進を図る。

県内産業を先導する技術開発プロジェクトの育成を図り、国等の競争的資金と県単研究経費を効率良く使いながら、多様な研究開発を進めるとともに、えひめ産業振興財団などの支援機能を活用して、成果の事業化を進める。

#### ‘チームえびす’によるトータルサポート

本県では、20年5月の国の地域力連携拠点事業の採択を契機として、「えひめ ビジネス サポート ネットワーク（通称：チームえびす）」を結成し、現在、えひめ産業振興財団をはじめ商工会議所や金融機関など15の「チームえびす支援拠点」と各地の商工会や大学、農協・漁協など69の「チームえびすパートナー機関」が県内の中小企業者に対する重層的かつ一体的な支援に取り組んでいる。

本県が誇るこの中小企業連携支援体制「チームえびす」のトータルサポートにより地域の経済活動の最大化を図ることとし、具体的には、連携力・支援力の強化により、利用者である事業者の満足を得る支援実績を積み重ね、それにより各支援拠点及びチームえびすの知名度・魅力が高まり、事業者が自然と集まり、更に連携力・支援力が高まるといった「支援機能の好循環」を生み出すことによって、日本一の支援機能を持つ地域力 1を目指す。

## モノづくり企業のマッチング支援システムの構築

本県の東・中予地域は、地域特性に応じた多様なものづくり企業が集積しているが、その成長過程において独特の歴史的背景を有していることから、高い技術力を有しながらも、「従来型縦系列への依存度の高さ」や「特定分野への専門特化」といった特徴が色濃く残り、地域内企業間の系列を超えた横の連携に対する意識が希薄な状況にある。

このため、全体としての収益拡大を図る観点から、県内企業の系列を超えた連携体づくりを促進し、新たな事業の柱を見出すことにより、既存取引先の発注動向に左右されない足腰の強い収益構造へ転換する必要があることから、「技術の相互補完」、「地域力（集積）を売りにした受注」など、集積をメリットとして活かすネットワークづくりを進め、域外大手企業からのニーズ導入や県内モノづくり企業の連携をコーディネートする、本県独自のマッチング支援システムの構築と定着を図る。

## (2) 企業を支える「ヒトづくり」

### 産業人材力の強化

少子高齢化の進行や団塊の世代の大量退職により、労働力人口は今後、高齢化するとともに大幅に減少することから、今まで以上に産業を支える人材を強化する必要がある。また、経済のグローバル化等、市場・技術の急速な変化への対応のほか、新たな事業展開や生産性の向上を達成するためには、イノベーションを生み出す人材の育成・強化が大きなカギとなっている。

一方で、企業は、長期的な視点に基づく人材育成から即戦力を重視する姿勢に変化しており、職業能力開発の責任を労働者個人へと転嫁する傾向が強まり、企業による人材育成投資の減少が続くとともに、非正規労働者の増加、若年者の不安定な就業状況は、職業能力開発機会の減少を招いている。

このような人材育成力の低下は、企業の成長を支える中核人材の不足を招き、地域産業界や各企業において培われてきた技術や技能が次世代へ継承されず喪失する懸念が広がっている。さらに、企業が必要とする人材が現に存在するにもかかわらず、各企業の人材ニーズの発信力が弱いことや関係機関の連携、支援の不足から、人材の充足が進まない状況も課題となっている。

これらの状況から、県内産業の発展を目的として、地域を支える基幹産業の中核人材や新たな成長産業に必要とされる高度人材の育成・確保、人材の充足が進まない産業分野に対する適切な人材誘導を総合的に推進する“産業人材力の強化”が求められている。

### (3) その他の支援

#### 資金繰り対策を通じた中小企業の経営安定化

中小企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあり、今後とも、緊急保証制度やセーフティネット貸付などのセーフティネット金融を着実に実施することにより、資金繰りに困難を来たす中小企業に対する支援を行っていく。

また、経済情勢の変化に対応して、中小企業の新たな資金ニーズを的確に捉えるとともに、創業や新事業進出等への挑戦、事業再生、事業に失敗した者の再挑戦など、資本過少や高リスク等により資金調達が困難な中小企業に対する円滑な資金供給を支援し、意欲と能力のある中小企業が、技術力や事業の将来性等に応じて融資を受けられる環境を整備していく。

さらに、不動産担保や保証に過度に依存しない融資を推進するため、在庫や売掛債権などを担保にした保証・融資、手形の減少等に対応した売掛債権の早期現金化、資金需要が生じた際の迅速な資金調達を可能にする予約保証制度など、多様な金融手法の推進に取り組む。

なお、「中小企業等金融円滑化法」の制定を踏まえ、民間金融機関における貸出条件の変更や旧債の借換え等を促進するとともに、中小企業の特性に応じた融資審査など、中小企業金融の円滑化を働き掛けていく。

#### えひめ中小企業応援ファンドを活用した支援

「えひめ中小企業応援ファンド」100億円は、第1期分「地域密着型ビジネスファンド（40億円）」が県内で培われた製造技術や農林水産物、伝統工芸などの地域資源や地域のニーズを活かしたビジネスの創出、第2期分「活力創出産業育成事業（60億円）」が既存産業の高付加価値化・高度化により次代を担う成長産業の育成支援を目的としており、えひめ産業振興財団において、ファンド運用益約1億6,000万円（第1期分：年間約6,800万円、第2期分：年間約9,800万円）を有効活用して、10年間のファンド存続期間に安定して、事業者に対して直接助成を行う「助成事業」と、えひめ産業振興財団や県内のその他の産業支援機関を通じた支援を行う「支援事業」を実施する。

#### 産業別等の支援機能の強化

- ・雇用の大きな受け皿であり、県経済を支える大企業や地域に中小企業群が集積する産業（地場産業）については、産業別等の課題や要望の把握に努め、その解決に向けて積極的な支援を行うことで、県内企業の企業力の向上を図るとともに、新事業展開や県外大手企業の県内留置につなげていく。

- ・脱石油・低炭素化の流れの中で、直接影響を受ける産業や業種については、成長分野への進出や新事業展開を支援・誘導することで、企業力の維持・向上を図る。
- ・経済成長戦略策定に当たって実施した県内地場産業や大手企業へのヒアリングにより判明した現状と課題、要望等については、経済成長戦略の推進と合わせて個別対応を強化していく。
- ・また、物流面や観光振興の面などから、企業等からの要望の多い道路や港湾等の整備については、社会基盤整備の遅れている本県の実情等を踏まえ、必要な整備を促進する。

# 愛媛県経済成長戦略 2010

～ 経済版えひめマッスルプラン～

## 基本理念 1

経済環境の様々な変化に応じた『産業構造の転換』や『企業体質の強化』を戦略的に進め、将来に亘る足腰の強い経済基盤づくりを目指す

## 基本理念 2

既存産業をベースとしつつも、従来の産業分野の枠にとらわれず、けん引力としての『成長産業の創出』と、地域に根付く『雇用を支える産業の育成』未来への投資としての『環境と経済の好循環』を図る

## 基本理念 3

地域の総力を結集する『戦略的取組の推進』と、本県企業が体質強化を図り続けることをサポートする『場づくり』や『ヒトづくり』などの環境整備を図る

## 社会の大きなうねり

少子高齢化 人口減少 環境意識  
安全・安心 価値観等多様化  
グローバル化 情報化

## 地域経済の持続的発展

～ 成長産業への脱皮と確かな雇用の創出～

## 産業構造の変革

低炭素革命 食料・水問題  
資源エネルギー問題  
農林水産業の6次化

## 『地域力』 No. 1

## 時代変化を先取り

### 重点戦略分野 食品ビジネス

商工業者と生産者が共に潤う食ビジネスが展開される  
『儲かる食料供給基地えひめ』  
新しいビジネスやマーケットを次々と先行開拓できる  
『食のフロントランナーえひめ』  
愛媛や四国の魅力ある産品を当たり前前に輸出できる  
『どんどん海外チャレンジえひめ』

### 重点戦略分野 低炭素ビジネス

グローバルニッチトップ企業を絶えず創出する  
『低炭素ビジネスフロンティアえひめ』  
「環境負荷低減」と「製品価値向上」が両立した技術を創出する  
『低炭素革新技术トップランナーえひめ』  
取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる企業を数多く創出する  
『産業創出力 NO.1 えひめ』

### 重点戦略分野 健康ビジネス

県民のQOL向上に寄与する商品・サービスが提供できる  
『健康づくり応援えひめ』  
介護・福祉現場のニーズを捉え高齢者の健康生活を支援する  
『健康生活支援えひめ』  
医療技術等の進歩・発展につながる先端研究を応援する  
『先端医療技術開発えひめ』

### 重点戦略分野 観光ビジネス

愛媛の魅力を満喫し、何度も訪れたいと思われる  
『ファンで溢れる観光地えひめ』  
東アジアの人々も満足し、一度は訪れたいと思われる  
『選択される国際観光地えひめ』

産業力向上

支援力向上

企業力向上

### 企業を支える『ヒトづくり』

産業人材力の強化

えひめ中小企業応援ファンドによる支援

資金繰り対策

### 企業の成長を助ける『場づくり』

産学官連携ネットワークの構築

チームえびすによるトータルサポート

マッチング支援システムの構築

産業別等の支援機能強化